

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 目 標
- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 - (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値に対する認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

位置づけ 2年次に引き続き、近現代の文学作品における社会的背景の読解や登場人物の心情理解を通して、他者に共感する力を養い、自分の考えを深める。

■使用する教材

■学習する単元とおおよその時期

・教科書「文学国語」（東京書籍）

〔4月～5月〕

・副教材「新訂総合新国語便覧」（第一学習社）

1. 随筆「国語から旅立って」
2. 小説「檸檬」

・問題集「小説読み解き講座＋文学史」（桐原書店）
「入試長文で鍛える 速読&速解チャレンジ
文学11」（尚文出版）

〔6月～7月〕

3. 小説「コンビニの母」
4. 小説「舞姫」

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

〔8月～9月〕

- 朝の10分間読書を活用し、文学作品に日頃から触れる。
- 読解のために、語句の意味や作品の背景などを調べる。
- 本文を通読し、全体の構成や表現の特徴などについて考える。
- 後期より、大学入試に対応するための問題演習を実施する。

5. 評論「演技する『私』」
6. 小説「黄金風景」（自主教材）
7. 小説「葉桜と魔笛」

〔10月～2月〕

大学入試対策演習

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A ・想像や心情を豊かにする言葉の働きや文章の種類と特徴などについて理解を深めることができる。	・文章の種類に応じて適切に文章を読み、作品に表れる作者のものの見方や考え方などをとらえ、自分のものの見方や考え方を深めることができる。	・関連する知識や文章を自ら探したり、様々な既存の知識と関連付けたりしながら文章を読み、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
	B ・上記を概ね達成できている。	・上記を概ね達成できている。	・文章を読む基本的な知識技能を持つようとし、自分の考えを整理しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	単元テスト 小テスト 課題の取り組み状況や内容	単元テスト 単元の課題プリント・確認テストなど 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

■領域ごとの授業時間数について（国語科の新学習指導要領科目のみ）

単元名	1 随筆 「国語から旅立って」	2 小説 「檸檬」	3 小説 「コンビニの母」	4 小説 「舞姫」	5 評論 「演技する『私』」	6 小説 「黄金風景」	7 小説 「葉桜と魔笛」	大学入試対策演習
話すこと・聞くこと								
書くこと	1	3	2	3	1	2	3	
読むこと	2	8	4	8	3	3	5	16

計64時間

年間単元テストの予定

実施予定時期	実施予定内容
5月	上記の単元2
7月	上記の単元4
9月	上記の単元7

●その他の単元は授業内で課題プリント・確認テスト等を実施予定。

